

第 51 回けんこう教室開催レポート

11月11日(土)に、第51回けんこう教室を開催いたしました。当院が化研病院から国際医療福祉大学市川病院となって初めてとなるけんこう教室で、今回から1日1回の開催となりました。

当日は好天に恵まれ、さわやかな秋風の吹く中、124名の方にご参加いただきました。

今回の講師は、宮崎淳腎泌尿器科部長(国際医療福祉大学医学部腎泌尿器外科学主任教授)より、「健診で血尿といわれたら」をテーマにお話ししました。

健診で血尿といわれても、必ずしも病気がひそんでいるわけではないこと、とくに女性の場合には尿潜血の陽性率が高く、陽性率は加齢とともに上昇することなどの説明がありました。

また、血尿の場合には、尿蛋白が陽性の場合には注意が必要で、その中でも無症候性顕微鏡的血尿

(「チャンス血尿」と呼ばれます)では、「再検で血尿が認められた例」、「尿沈渣中に赤血球が存在した例」、では、精密検査を行う方がよいという注意喚起もされました。

その他、尿路上皮がんの特徴やその治療方法、前立腺肥大症と前立腺がんとの違い、前立腺がんの検査方法などのお話もありました。

まとめでは、「健診で尿潜血と診断された場合には、専門医の受診が大事なこと。とくに喫煙をしている方や自覚症状がある方は必ず専門医を受診しましょう」、「検査では、超音波検査がもっとも負担が少なく効果も高いこと」、「場合によってはCTスキャンや膀胱鏡検査も必要になること」などが挙げられていました。



講演中の宮崎部長



恒例のリハビリ体操では、リハビリテーション室の善田(ぜんだ)主任が、いつものように元気にみなさんと一緒に運動を行いました。今回は、くしゃみなどをしても尿もれが起こらないように筋力を鍛える体操でした。

リハビリ体操の様子

○次回のけんこう教室は、12月16日(土)14:00から

「冬場の感染症にご用心! ~正しい知識で予防と治療。健康に師走を乗り越えましょう~」

(呼吸器内科 津島健司 国際医療福祉大学医学部呼吸器内科学主任教授)

を予定しています。